

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公表番号】特表 2012-508931 (P2012-508931A)
 【公表日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-015
 【出願番号】特願 2011-536380 (P2011-536380)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/75 (2013.01)

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 E

G 0 6 F 12/14 5 3 0 C

G 0 6 F 12/14 5 6 0 B

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 26 年 6 月 17 日 (2014.6.17)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

動作可能に P C に結合されると、ユーザーのための安全なコンピューティング環境を生成するように前記 P C とともに使用するために構成されたモバイル装置であって、

1 つまたは複数のプロセッサを含む C P U と、

前記 1 つまたは複数のプロセッサにより実行されると、前記モバイル装置に O S を実装する命令を格納するコンピュータ可読媒体と、

前記 C P U の一部および前記 O S の一部を使用して実装されたトラステッドコアであって、前記 P C のインテグリティを検証するように構成され、前記トラステッドコアが前記 P C に常駐する実行可能コードが信頼されるとの検証を実行できるように、前記 P C 上での処理をサスペンドし、前記 P C の機能の制御を引き継ぐように更に構成される、トラステッドコアと

を備えることを特徴とするモバイル装置。

【請求項 2】

前記 1 つまたは複数のプロセッサにより実行されると、前記 P C 上で実行するソフトウェアが適用されるライセンス条項を実行することを目的として構成されたライセンス実行モジュールを実装する命令を前記コンピュータ可読媒体はさらに格納すること、又は、該命令を格納する別のコンピュータ可読媒体を前記モバイル装置はさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 3】

前記 1 つまたは複数のプロセッサにより実行されると、前記ユーザーによる前記 P C の使用が適用されるポリシーを実行することを目的として構成されたポリシー実行モジュールを実装する命令を前記コンピュータ可読媒体はさらに格納すること、又は、該命令を格納する別のコンピュータ可読媒体を前記モバイル装置はさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 4】

前記ポリシーは、安全性ポリシー、アプリケーション使用ポリシー、生産性ポリシー、管理ポリシーの少なくともひとつを含むことを特徴とする請求項 3 に記載のモバイル装置。

【請求項 5】

前記検証は、前記 PC においてコードが変更されておらず信頼できるものであることをチェックすることを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 6】

前記 PC は、デスクトップ PC、ラップトップ PC、ワークステーションのうちの 1 つであることを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 7】

前記 1 つまたは複数のプロセッサにより実行されると、前記 PC において前記ユーザーに対し体験を個人化するために個人化データを前記 PC に開示することを目的として構成された個人化モジュールを実装する命令を 前記コンピュータ可読媒体はさらに格納すること、又は、該命令を格納する別のコンピュータ可読媒体を前記モバイル装置はさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 8】

前記個人化データは、ユーザーのプロファイル、設定、ユーザー プリファレンス、証明書、データ、アプリケーション、デスクトップのうち少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 7 に記載のモバイル装置。

【請求項 9】

前記 トラスティッドコア は、不変のコードを実行することを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 10】

携帯電話、PDA、スマートフォン、パーソナル メディアプレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、デジタルレコーダー、ポケット PC のうちの 1 つまたは複数により提供される機能をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のモバイル装置。

【請求項 11】

モバイル装置と動作可能に結合されると、保護されたコンピューティング環境を実装するように PC を構成する方法であって、

前記モバイル装置中に配置される少なくとも 1 つの トラスティッドコア を含む 1 つまたは複数の機能と結合して動作する入力を構成するステップと、

前記 トラスティッドコア が、前記 PC 内に常駐する 実行可能コード が信頼されるとの検証を実行できるように、前記 PC 上での処理を 前記トラスティッドコアがサスペンドし、前記 PC の機能の制御を引き継ぐステップ とを備えたことを特徴とする方法。

【請求項 12】

PC における個人化されたユーザーの体験を実現するために前記モバイル装置から個人化データをアクセスするステップであって、前記 PC における前記 実行可能コード が信頼できるとの検証の後に実行されるステップをさらに備えたことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記入力、前記モバイル装置から前記 PC に配置された 1 つまたは複数のメモリへの直接のアクセスを実装するインターフェースを使用して動作可能に前記モバイル装置に結合されることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記モバイル装置および PC は、前記モバイル装置が PC に直接合体され、直接合わると前記モバイル装置および PC は動作可能に結合されるよう各々構成されることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 15】

前記検証の実行は、前記 実行可能コード が、当初の形式から変更しないかどうかを判定

するステップまたは前記実行可能コードがマルウェアから影響を受けていないかを判定するステップを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0004

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0004】

携帯電話、スマートフォン、パーソナル音楽プレーヤー、携帯ゲーム機等のモバイル装置は、動作可能なように PC に結合されると、モバイル装置の CPU および OS の設定を通して、保護された個人ごとのコンピューティングプラットフォームを生成し、不変のトラステッドコアとして機能する。モバイル装置のトラステッドコアは、例えば、そのドライバ、アプリケーション、および他のソフトウェアが信頼され変更されておらず、それゆえ、結合されたコンピューティングプラットフォームのインテグリティにわたる脅威が存在することなく安心して使用できることを含む、PC のインテグリティを検証する。モバイル装置は、例えばユーザーのデスクトップ、アプリケーション、データ、証明書、設定、および プリファレンス（好み、設定） を含むユーザーの個人化データをさらに記録し転送することができ、このデータは、装置が結合され、それにより個人ごとのコンピュータ環境が作成されると、PC によりアクセスされることができる。PC は、より実質的なコンピューティングリソースを、結合されたモバイル装置や PC のコンピューティングプラットフォーム（例えば、より強力な CPU や追加のメモリ等）にもたすが、一方で、典型的に、大型フォーマットモニター、フルサイズのキーボード、プリンタ等の利用可能な周辺機器となる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

図 1 は、モバイル装置 105 と PC 110 を含む、例示的なコンピューティング環境 100 を示している。モバイル装置 105 は、例えば、携帯電話、スマートフォン、ポケット PC、PDA (personal digital assistance)、MP3 (Moving Picture Expert group、MPEG - 1、audio layer 3) プレーヤー等のパーソナルメディアプレーヤー、デジタルカメラ、デジタルレコーダー、携帯ゲーム装置、又はこれらの機能の 1 又は 2 以上を組み合わせた装置等の様々な異なるデバイスから選択することができる。一般に、モバイル装置 105 は、コンパクト及び軽量であり、ユーザー 112 により場所から場所へ便利に運ぶことができるようになっている。モバイル装置 105 の中の電池等の搭載電源により、典型的に、さらに装置の有用性および機能性を強化することができる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

図 3 と図 4 は、モバイル装置 105 の中のトラステッドコア 205 の実施例の詳細を示す。図 3 に示すように、トラステッドコア 205 は、この特定の例においてモバイル装置の CPU (central processing unit) 312 により可能となるハードウェア、およびモバイル装置の OS (Operating system) 316 により提供されるソフトウェアの組み合わせを使用して実装される。以下で説明するように、このハードウェアとソフトウェアの組み合わせにより、PC 110 をホールドしてインテグリティチェックを行うために、

図 4 に示すように、トラステッドコア 2 0 5 は、トラステッドコード 4 0 2 を記録し、その後実行することが可能となる。トラステッドコード 4 0 2 は、不変であり（その状態が変更されないことを意味している）、それゆえモバイル装置 1 0 5 が動作可能に P C 1 1 0 と結合されたときに、結合されたモバイル装置 / P C プラットフォームの信頼性の検証のために使用することのできるトラステッドプラットフォームのベースを提供する。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

この特定の態様において、個人化データ 6 1 6 は、ユーザーのプロファイル 6 2 1、設定 6 2 5（例えばシステム設定やアプリケーション設定）、ユーザープリファレンス（好み、設定） 6 3 0、セキュリティの証明書 6 3 4、ユーザーデータ 6 3 9、アプリケーション 6 4 5、およびユーザーのデスクトップ 6 4 8を含むことができる。しかし、これらのデータタイプはあくまで例であり、他のデータタイプおよびデータの組み合わせも、所与の実装の条件に従い使用することができる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 6】

